



河野としのり県議

もっとJRに対して県はしっかりと要望を！

県民の足を守ることにこそ大事な仕事！！

# 代表質問及び常任委員会で強く訴える

## この河野としのり県議

# JR京葉線

# ダイヤ改善を

# 粘り強く訴える！！

# トラブル防止も要請する！！



平成18年12月 定例県議会代表質問にて

**JR京葉線のトラブルは余りにお粗末な設計と管理により、それなのに県や市町村には何の報告、原因説明、陳謝、対策も示さない。千葉県民21万人が被害を受けた。それで良いのか？**

### 河野としのり県議

平成18年9月28日、29日のJR京葉線のトラブルについては、21万6千人もの方々に影響し、混乱は翌日まで続いた。トラブルの原因は、配電盤のブレーカーが作動せず、高圧電流が漏電し、漏電の遮断装置は有効に働くことなく、流失した電流が信号機器室へと流れ信号機基盤の継電器が黒焦げになり運休したという。通常の電源系統の設計からは考えられないことである。

さらにハロゲンガスを使った消火のため、そのガスの排出に5時間もかかり、ラッシュアワーの時間であるのに、回路の復旧作業以前の排気に時間がとられた。正に人災に近いトラブルで千葉県民は大変な迷惑と被害を被った。

千葉県民は迷惑と被害を受けた。それで良いのか？



H18.9.28 東京新聞(夕刊)より



H18.9.28 朝日新聞より



H18.9.29 読売新聞より

発生当事、一切しなかつたと聞くが、本当か、副知事

事故発生時、JR東日本から県への報告はありませんでした。このため、再発防止策の確立とあわせ、災害及び大規模鉄道事故等発生時の情報の提供について、9月定例県議会で採択された「再発防止を強く求める意見書」(河野としのり県議作成)の写しを添え、再度申し入れを行いました。その後、JR東日本千葉支社と協議を進め、具体的な連絡方法等について相互に確認するなど今後の情報連絡体制の強化を図ったところです。

### 県議会で採択された

「JR京葉線のダイヤ改善を求める」

請願に対し

県執行部は、その切実な住民の訴えを重く受けとめ執行して欲しい。

### 河野としのり県議

JR京葉線に関連しそのダイヤについても言及するが、平成14年12月千葉市美浜区の稲毛海岸駅、検見川浜駅の列車本数がいきなり週八十本も減らされた。極端な本数の激減に生活を混乱させられた住民は当惑し、行き場の無い想いを県議会に訴え、これを県議会が受けとめ、平成15年9月議会で「JR京葉線のダイヤ改善を求める」請願を採択して戴いた。それを受け県執行部はその年の11月に千葉市とともに期成同盟を通じてJR東日本に対してダイヤ改善の要望を行なったと聞いている。しかしながら、結局、平成16年11月のダイヤ改正で新習志野と蘇我間で上一本ずつが増発されただけで、それ以上の運行本数の増加には至っていない。住民の憤りは消える事はありません。お聞き致しますが、県民の足を守るということこそ県の行政サービスとして重大な仕事であり、担当課の存在する意味でもあるはずですが、ところが鉄道のトラブル防止、ダイヤ改善に対しては、県からJR東日本への一方的なお問い合わせ、陳情ペーシというあり方です。これからもこのままでよいのか、また議会の請願の採択された重さをどのよう認識し、執行部はJR京葉線のダイヤ改善に向け執行しようとしているのか、(裏面に続く)



平成18年12月6日 千葉日報掲載記事より

河野としのり県議のJR京葉線ダイヤ改善の質問に対し副知事が「利便性の回復について、粘り強く要望していく」と答えた。

## 2007年3月 JR京葉線ダイヤ深夜1本増発

3月18日にJR東日本でダイヤ改正が行なわれ、JR京葉線は東京発下りが現行の新習志野止まりから蘇我まで延長される。(⇒詳しくは裏面参照)